

【授業科目】 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程)

Fundamental Nursing Practice II

| 担当教員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | 実務経験 | オフィスアワー | 教職員への授業公開 |
|--|---|------|-----|-----|------|------|-------------------|-----------|
| 久留島 実姫、中村 いお美 | 2年次後期 | 必修 | 2 | 90 | 実習 | あり | 巻末掲載 | 否 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法 | <p>授業概要/基礎看護学実習Ⅱでは、病院で療養生活を送る人々の健康上の問題を明らかにし、問題を解決するために必要な援助を計画、実施、評価する看護過程の一連のプロセスを実際に経験し、看護の基礎的能力を養うことを目指す。また、実習を通して、看護専門職としての倫理観および態度や姿勢、さらに患者との援助的人間関係についても学習する。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/実習記録は適宜、口頭または記録にコメントを記載する。</p> | | | | | | | |
| 実務経験に 関する授業 内容 | <p>看護師の臨床経験をもつ教員が、学生と共に受け持ち患者にかかわりながら、看護過程の展開と主体的な学習を支援していく科目である。</p> | | | | | | | |
| 授業の 位置づけ | <p>本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。</p> | | | | | | | |
| 到達目標 (履修者が 到達すべき 目標) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち患者の看護過程を展開できる。 2. 看護チームの一員として、看護者の役割と責任を自覚した態度・行動をとることができる。 3. 実習経験を振り返り、自己の課題を述べるができる。 | | | | | | | |
| 時間外学習 に必要な 内容・時間 | <p>※詳細については、実習要項を参照してください。</p> | | | | | | | |
| 授業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習期間は令和8年2月16日～令和8年3月13日 ・実習時間は、原則として、8:30～17:00 <p>※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時、配布資料を参照してください。</p> | | | | | | <p>久留島 中村</p> | |
| 評価方法 評価基準 | <p>※詳細については、実習要項を参照してください。</p> | | | | | | | |
| 学生への 助言等 | <p>この実習は、1年前期から2年後期までの学習内容をすべて使う必要があります。従って、看護過程論だけでなく、必要な援助技術について各自で復習を行い、十分な準備をして実習に臨んでください。</p> <p>また、看護学生として責任ある行動をとり、積極的・主体的に学んで下さい。実習期間中はインフルエンザ等の感染症が流行する時期になります。事前のインフルエンザワクチンの接種（アレルギーのある学生は除く）と共に、感染予防行動、生活習慣に留意し、体調管理に十分留意して下さい。</p> | | | | | | | |